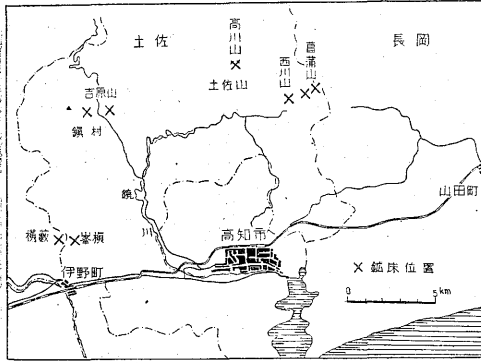


高知縣伊野町及び佐川町附近の炉材珪石*

伊野町附近には横簾・峯嶺の2炉材珪石鉱床が知られている。何れも黒崎窯業株式会社の所有であり、共に嘗て採掘したことがあるが、目下休山中である。



第1圖 炉材珪石分布圖

〔横簾鉱床〕…吾川郡神谷村成山。伊野町北方3 km, 伊野町北方の地質は走向 N 80°~90° E, 略垂直の輝綠凝灰岩が分布し、さらに北方鉱床附近には角岩が露出している。鉱床附近より 580.3 高地三角点を経て東に延びる尾根は赤色角岩よりなり、鉱床はこの角岩中の 580.3 高地西方にある。

鉱床の露頭は走向 N 45°~80° W の方向に点々と約 150 m 続くが、鉱体毎の連続性は余りない。鉱床の良質部の幅は 3 m を越えることはなく、大きな鉱体を期待出来ない。

鉱石は赤白珪石で角礫構造を呈し、赤色の部分は珪化している良質の 1 級品を主とするものであるが、鉱床の東部に至る程赤の部分が多くなる。平均の品質の鉱石(量的には少い)の分析値及び耐火度を次表に示す。

SiO ₂	97.61
Al ₂ O ₃	0.61
Fe ₂ O ₃	0.51
FeO	0.22
MnO	0.04
CaO	0.01
MgO	0.12
Ig. loss	0.60
Total	99.72
単味耐火度 (SK)	34
スラグ入り耐火度 (SK)	33

分析 地質調査所 関根・前田
耐火度 黒崎窯業株式会社

この鉱床の開発には 700~800 m の軽索と 600 m の木馬, 3 km の馬車運搬を要するのである。鉱量としては約 1000 t しか期待出来ない。

〔峯嶺鉱床〕…吾川郡伊野町峯嶺・伊野町北方 3 km, 地質は横簾に同じ。鉱床 580.3 高地の東尾根の赤色角岩中に長径 10~15 m の多少細長い塊状をなして散点し、東西方向に延びている。鉱体は赤色の部分多く、部分的に良質部があるが鉱量としてはまとまらない。

鉱石は 1~2 級品で赤の部分多く、虫喰いの部分が多い。

今後再開される望みは極めて少い。

〔西山鉱床〕…高岡郡尾川村西山・佐川町の西南方 5.5 km 四國鉱業商事所有

鉱床は東西方向に点々と露頭を示す角岩中の白珪石鉱床で、東西に細長く垂直下方に連続する。鉱体は中央の白色部から次第に淡紅色淡灰色の低品位の部分を経て暗灰色の千枚珪岩(角岩)に移化する。ために、炉材珪石として利用し得る範囲は定め難いが、大略幅 4~7 m, 長さ 20~25 m, 深さ 5 m を推定し得る。

鉱石は白珪石 1~2 級品で酸化鉄に依り多少汚染せられている。分析値及び耐火度試験の結果を示す。(分析, 関根・前田, 耐火度 黒崎窯業)

SiO ₂	98.31
Al ₂ O ₃	0.51
Fe ₂ O ₃	0.32
FeO	0.01
MnO	0.02
CaO	0.01
MgO	0.07
Ig. loss	0.45
Total	99.70
単味耐火度	34 1/2
スラグ入り耐火度	33 +

鉱量は約 1500 t (1~2 級各 50%)

本鉱床は鉱量, 搬出情況より見て今後白珪石鉱床として重要な位置を占めるとは考えられぬ。(安齋俊男・岡野武雄)

* 昭和 24 年 2 月に行われた。1 : 50000 伊野, 須崎